

## . 学校の概要（平成 15 年 4 月現在）

学校名	松原市立中央小学校								
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	養護学級	計	教員
学級数	4	4	3	4	3	3	1	22	33
児童数	130	140	116	127	112	116	5	746	

## . 研究の概要

## 1. 主題（テーマ）

「自己選択」「個別学習」「自己表現」をキーワードに、少人数授業による個に応じた多様な「学び」の展開

## 2. 内容与方法

## (1) 実施学年・教科

2年 算数・国語    3年 算数・国語    4年 算数・国語  
5年 算数・国語    6年 算数・国語

算数科は、精密に組み立てられた体系のもとで成り立つ教科である。また、児童のつまずきや学習理解度の差が出やすい教科でもある。そこで、児童の学習理解度に応じた習熟度別学習を中心とした多様な学習形態による少人数授業の取り組みを進めている。平成 13 年度の成果を引き継ぎ、平成 14 年・15 年度は、担任外教員の活用を図り、少人数授業が低学年へも拡がり、2 年～6 年において実施している。また、1 年においても必要に応じて重点単元に少人数授業の取り組みを進めている。

国語科においても、児童のコミュニケーション力を高めることが、課題となっている。そこで、2 年～6 年に平成 14 年度から少人数授業を取り入れ、音声言語指導や作文指導等により「話す・聞く・読む・書く」等の効果的な育成をめざし、児童の実態に応じた課題別選択授業等の少人数授業の取り組みを進めている。

## (2) 年次計画

平成 14 年 度	<p>テーマ 児童の学力実態を把握することから、個別学習を重視し、低学年からの系統的な指導体制作りをめざして</p> <p>仮説 一斉指導を効率的に進めることで、児童の学習課題にそった個別学習の時間を保障していくことが、児童の学習意欲につながるのではないか。</p> <p>研究内容・方法 基本教科における効果的で多様な少人数学習の展開 少人数授業に対応した指導方法の工夫・改善（一斉指導と個別学習の結合） 少人数授業に対応した教材の開発 学力診断テストによる効果測定と学習評価の工夫改善 保護者への情報発信・情報公開と学校自己診断による評価</p>
--------------------	---

平成 15 年度	<p>テーマ 児童の自己評価、相互評価をより確かなものとし、児童及び保護者等から納得と信頼される評価システムを確立する。</p> <p>仮説 児童が、チェックテスト、診断テストをもとに、自己評価能力を高め、コース選択することで、学習への意欲と自信につながる。</p> <p>研究内容・方法 全学年で学期ごとに学力診断テストを実施し、個々の学力を把握し、個別の課題を明らかにする。 チェックテストや振り返りカードを活用し、自学自習する力を高めていく。 個々の児童の個別学習に対応したヒントカード等の教材を開発していく。 同じ中学校区の学校と連携し、授業研究及び評価等の研究を進める。 保護者への情報発信・情報公開と学校自己診断による評価を有効に活用する。</p>
----------------	--

平成 16 年度	<p>テーマ 診断テスト等の効果測定をもとに、各学年の単元、領域での系統性を考え、学習形態及び指導方法について、校内全体で共通認識したカリキュラム編成を図る。 (平成14・15年度は、算数科を中心に進めてきたが、平成16年度は、国語科においても児童の実態把握と共に指導の系統性、ねらいなどを明確にし進める。)</p> <p>仮説 児童が、低学年から各単元、領域に応じた系統的な学習形態及び指導方法で学習することで、個に応じた適切な指導と評価が可能となる。</p> <p>研究内容・方法 各単元、領域に応じた学習形態(等分割、習熟度別、課題別等の分割する時期や編成について)、指導方法(一斉指導、個別学習をどう展開するか)の指導計画・指導案について)を校内で統一していく。 児童の自己評価、教師集団の児童への評価が、適切かつ客観性のあるものであり、児童への「やる気」「自信」、保護者の信頼につながっているかを明らかにしていく。</p>
----------------	--

### (3) 研究体制

#### 少人数授業推進プロジェクトを中心とした校内研究推進体制

少人数授業担当教員、管理職で構成し、毎週木曜日の午後に会議の時間を位置づけ計画的に研究を行っている。会議では、各学年の学習及び指導方法などについて交流し、共通した認識のもと、指導の系統化を図っている。また、教科部会(国語・算数)を強化し、教科研究を重点課題とし授業研究を通して系統だった教材開発、指導方法の研究を校内全体で共通認識している。

#### 研究者・小 小・小 中と連携した研究体制

理論的な学習会及び研究授業への指導・助言を研究者にしている。また、年間を通して継続的に大学の研究者と連携を図ることにより、実践に対する理論的な裏づけと広い視野に立った授業改革を進めたいと思っている。

また、中学校校区で学期に一回づつ「合同授業研究会」を開催し、小 小・小 中の連携を図っている。本年度からは、ワーキンググループを作り、少人数授業の推進をめざして協同研究を進めている。

## ・平成 15 年度の成果及び課題

### 成果

低学年からの少人数授業を進めてきたことで、特に算数科において早い時期に児童のつまづきに気づき、一人ひとりの学習理解度に応じたきめ細やかな指導を進めることができた。また、わからないことを安心して「わからない」と表現でき、どの児童も生き生きと参加できる授業をめざした実践を進めることができた。

国語科においても、児童のコミュニケーション力の効果的な育成をめざし、音声言語や作文指導だけでなく説明文教材についても少人数授業を実施し、学習形態や指導法についての取り組みを進めることができた。

診断テストは、3年目を迎える。診断テストの結果から児童の実態が明らかになり、個別指導が必要な児童が浮き彫りにされてくる。また、指導方法が適切であったかの見直しもでき、今後の指導につなげることで効果的に使うことができた。15年度の結果から、正答率80%以上の人数が多く、正答率60%以下の人数が非常に少なくなっていることがわかった。また、1学期より2学期の正答率が高かったりと児童全体として力がついてきていると判断できた。転校生についても転校当時は学力が低かったが診断テストから学力が上がってきていることもわかり、個人に焦点をあてて指導を追うことができた。

### 課題

本校で実施している学校自己診断において、「授業がわかる」と答えた率は、80%を占めている。しかし、学習に対する「やる気」「自信」では、わかるより低い結果になっている。学習意欲や学習に対する自信は、教育総体が問われている課題であると考えられるが、少人数授業をより充実させることが「学びへの意欲、自信」へと高める契機になると捉えている。

少人数授業の一斉指導において、児童の興味関心にあった問題を提示し、児童が学習課題へと向かう必然性や意欲を大切にしていきたい。そのためにもより有効な教材開発を進めていく必要がある。また、個別学習では、基本的な問題とチャレンジ問題の内容を児童の実態に即したものの工夫改善していきたい。

国語科では、説明文において多様な形態の指導に取り組もうとしているが、児童の実態把握や、指導の系統性、ねらいの明確化などの課題を明らかにし、一つ一つ積み上げていきたい。

そして、各学年の単元、領域に応じた系統性を明らかにし、学習形態及び指導方法について、校内全体で共通したカリキュラム編成を図っていきたい。

## ・学力把握のための学校としての取組

毎年学年末に全学年で「学力診断テスト」を実施、児童の学力実態の把握とともに、指導の効果測定に活用している。平成15年度は、松原市教育委員会と松原市教育課程研究推進協議会が作成した「学力診断テスト参考例」を参考として、学力診断テストの内容を一層充実させるとともに分析方法についても研究者の協力を得て、工夫改善を進める予定である。

また、児童の学力をきめ細かく把握するために、全学年において毎学期末にも診断テストを実施している。(年3回)その他、単元に入る前に既習事項についてのレディネステストを実施したり、学習の過程で習熟度別学習を実施する時は、チェックテストを実施したりして、児童が自己評価を通して自己選択できるようにしている。

・フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成14年度

日時	会場	テーマ	対象
7月2日	松原市立中央小学校	算数科少人数公開授業 (5年・6年)	大阪府教育委員会視察
12月3日	松原市立中央小学校	算数科・国語科少人数公開授業 (4年・5年・6年)	大阪府南河内地区教員 (200名参加)
1月30日	松原市立中央小学校	算数科・国語科少人数公開授業 (2年・4年・5年)	松原市内教員 (200名参加)

平成15年度

6月11日	松原市立中央小学校	算数科・国語科少人数公開授業 (3年・6年)	大阪府教育委員会視察
7月10日	松原市立中央小学校	算数科少人数公開授業 (4年)	河内長野市立長野小学校教員
8月11日	松原市立中央小学校	取り組み内容の説明及び実践 報告	群馬県伊勢崎市立南小学校教員 大阪府箕面市立北小学校教員
11月11日	松原市立中央小学校	算数科・国語科少人数公開授業 (4年・5年・6年)	大阪府門真市教育課程研究会(27人)
11月19日	松原市立中央小学校	国語科少人数公開授業 (2年)	松原第三中学校校区各校教員
1月28日	松原市立中央小学校	算数科・国語科少人数公開授業 (3年・4年・5年)	大阪府中部地域教員 松原市内教員(300名参加)

次の項目ごとに、該当する個所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】            15年度からの新規校            14年度からの継続校
- 【学校規模】                    6学級以下                            7～12学級  
                                      13～18学級                            19～24学級  
                                      25学級以上
- 【指導体制】                    少人数指導                            T・Tによる指導  
                                      一部教科担任制                        その他
- 【研究教科】                    国語                                    社会                                    算数                                    理科  
                                      生活                                    音楽                                    図画工作                            家庭  
                                      体育                                    その他
- 【指導方法の工夫改善に係わる加配の有無】            有                                    無